

会議録

令和6年6月19日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和5年度第10回定例会
開催日時	令和6年3月20日(水) 18時30分から19時30分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：西原みどり(会長)、小須田厚子(副会長)、辻康一、荒井容子、高井正、荒井茂、石川健、小池教之、下坂小百合、青木美紀子、城石雅行、 職員：福所館長、市川事業係長(柳沢)、山本分館長(田無)、國府方館長補佐(芝久保分館長)、一之瀬分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査
欠席者	高橋浩一、ギログリー江美
議題	1 審議事項 (1) 令和5年度第8回定例会会議録(案)について(資料1) (2) 令和5年度第9回定例会会議録(案)について (3) 令和6年度公民館事業計画について(資料2、資料3) 2 主催事業について (1) 令和5年度公民館主催事業報告について(資料4) (2) 令和6年度公民館主催事業計画について(資料5) (3) まちなか先生について 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 西東京市図書館計画策定懇談会報告 (4) 西東京市文化財保存・活用計画策定懇談会報告 (5) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) 令和5年度第2回利用者懇談会について (2) 令和6年度公民館運営審議会定例会開催日程について (3) その他 (4) 令和6年度第1回定例会の開催について
会議資料の名称	【配布資料】 資料1 令和5年度第8回定例会会議録(案) 資料2 令和6年度～10年度西東京市公民館事業計画(案) 資料3 令和6年度西東京市公民館事業計画(案) 資料4 令和5年度公民館主催事業報告書 資料5 令和6年度公民館主催事業計画書
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
傍聴者	☒ あり(2名) ☐ なし
会議内容	
1 審議事項 (1) 令和5年度第8回定例会会議録(案)について(資料1) ●令和5年度第8回定例会会議録(案)について(資料1)承認する。 (2) 令和5年度第9回定例会会議録(案)について ●令和5年度第9回定例会会議録(案)については、各自内容を確認し1週間をめどに修正意見を事務局に送ることとする。 (3) 令和6年度公民館事業計画について(資料2、資料3)	

- 事務局より、令和6年度から10年度までの5年間の公民館事業計画（案）と令和6年度の公民館事業計画について説明。基本方針について、前期の4つから、「開かれた公民館」「問いかける公民館」「地域とともに」の3つに変更したことを確認。

○A委員

西東京市公民館事業計画（令和6年度～10年度）（案）について、6～8ページを読むと、西東京市公民館が大切にしてきたことや現状がわかる。令和6年度西東京市公民館事業計画の4ページには、まちなか先生も含めて取り組みが紹介されていて、この2つを読むと西東京市公民館の在り方がわかる。

○B委員

西東京市公民館事業計画（令和6年度～10年度）（案）の6～8ページについて、新しく書き換えた箇所はあるのか。

○事業係長

令和3年度～5年度の西東京市公民館事業計画の「計画の背景と期間」の内容を書き換えて、8ページに「(3)計画的な公民館事業の実施」として新しく記述した。

○B委員

西東京市公民館事業計画（令和6年度～10年度）（案）の「西東京市公民館が大切にしてきたこと」についてだが、市民が何を大切にするのか、それを一緒に考えていくものをつくっていくというスタンスであるべきで、公民館が大切にするということではないと思う。「みんなで協力しあわないとまちが機能しない、だから市民に学んでもらう」という流れがある中、つながりを大切にしつつも、つながりのために学ぶという在り方ではない点が西東京市公民館のよいところ。生きていてよかったと思える、学ぶといことはそういうこと。どのような学びをひろげていくか、市民と一緒に考えてつくっていく。学びは自由に行われるもので、公民館がすべてをカバーしなくてもよい。全体を見て、その時その時、公民館が何を大切にしていくか、市民と一緒に考えていく。そういうスタンスで、今後、みんなで議論していきたい。

○事業係長

西東京市公民館事業計画（令和6年度～10年度）（案）について、基本目標を変更している。令和3年度～令和5年度の計画は、教育計画が関係機関や地域と連携することに重きをおいている内容になっていたため、基本目標を「共生社会の実現に向けて地域の中に踏み出す公民館」とし、基本方針の一つを「地域の中につながりを」としていた。今回は、学びは個人から始まるもので、公民館はそれを支援するというのを改めて基本とするために、「市民とともにある公民館」を基本目標とした。整合性を改めて検討する。

○C委員

資料2、資料3の表題がどちらも「西東京市公民館事業計画」となっているので、5年間の事業計画（資料2）については名称を「西東京市公民館中期事業計画」として区別した方がいいのではないかな。また、基本方針を4つから3つにした趣旨やその理由、前期の基本方針をどのように受け継ぐかを記載した方がわかりやすいと思う。

○事業係長

委員からの様々な意見を検討する。

- 「西東京市公民館事業計画（令和6年度～10年度）（案）」について、修正意見は基本理念、基本目標、基本方針に関するものではなかったもので、修正案を作成の上、郵送し、メール等で承認を得ることとなった。

「令和6年度西東京市公民館事業計画（案）」については承認。

2 主催事業について

(1) 令和5年度公民館主催事業報告について（資料4）

○D委員

小学校親子料理講座「子育て中の男性あつまれ♪ パパっと、ごちそうレシピ！」（田無）について、参加人数も多く、子どもたちから、楽しかったという感想が多数寄せられている。食べることは直に実感したり、共有したりできる。よい取り組みだと思う。対象は父と子だが、母親や祖母、祖父等の参加はなかったのか。

○分館長(田無)

子育て中の男性と子どもを対象としたが、父親が参加できない回については、祖父が参加した場合もあった。

○B委員

初めて参加する人も多く、どの事業もよいと思う。

防災講座「子どもたちと体験しながら身に付けちゃおう！ 災害を乗り越える力」（芝久保）について、実践的な体験型内容で工夫されている。感想もいきいきとしていてよい。

暮らしに役立つ実学講座「ライフスタイルにあう片づけ」（芝久保）も多世代の参加があって、よかったと思う。

高齢者の課題を考える講座「老いる不安を生きる希望へ～認知症へのあたらしいアプローチ」（ひばりが丘）は認知症の不安に応えるもので、担当の考察・課題欄に「どのような公的支援が受けられるか情報を求めて参加する人が多い。発想を転換し自ら積極的に発信することが日常生活の質の向上につながる」とある。認知症だからといって不安に思うのではなく、自信をもって社会に出ていこうとする方向が感じられたのはよかったと思う。

また、地域連携講座「落語っておもしろい！ あなたもハマる落語の世界」（保谷駅前）も人気で、参加者が多い。その公民館にかかわる市民の力が、その館の特徴をつくり、それを継続させていく。他の地域ではできないことを大事にしていく。落語文化にめざめた参加者の感想があり、このような展開はよいと思う。

○E委員

地域連携講座（保谷駅前）は、私の所属している保谷落語愛好会との共催事業で、4回の連続講座を行った。参加された方から出前寄席の依頼やマジッククラブの方からのコラボの依頼など、効果があった。

○A委員

農業を知る講座（谷戸）について、担当者の考察・課題欄に「若い世代・働く世代・子育て世代の参加のために、…開催方法などを検討したい」とあるが、「農業を知る講座」という事業名が固いと思う。例えば「パパもママも農業をしよう！」などのくだけた感じのサブタイトルを付けて、若い世代の参加を促すことことも必要ではないか。

○分館長(谷戸)

現在、平日のみ開催しているが、今後、日曜や土曜の開催も検討し、若い世代を取り込みたいと考える。また、「事業名が固い」とのイメージについては、環境から見た農業・都市農業の新しい展開・西東京市の農業振興への取組などのあらゆる角度から講義を行い、まさに農地を守る意味や暮らしへの影響を考えるなど「農業を知る講座」だと思う。サブタイトルについては、令和6年度も継続する事業なので、担当者で検討したいと考える。

○D委員

子育て中の人のための講座「ゆったり軽やかに！ 子育てを楽しもう」（谷戸）について、参加者の感想に「保育員さんが、子どもに“ママはお勉強を頑張っているんだよ”と伝えてくれているお陰で、…より一層集中して勉強しよう！と思うことができました」とある。保育員の声かけで受講者の後ろめたさがなくなって講座に向かう姿勢が変わることや、保育室の子どもたちの生き生きとした姿を伝えていて、とてもよいと思った。

○F委員

講座の講師は、どのように見つけてくるのか。子育て中の人のための講座（谷戸）の講師は、をどのように探してきたのか。

○分館長(谷戸)

公民館専門員は、書籍・雑誌や講師の紹介、口コミ（インターネット）、過去の講座の参加者アンケートの声などから講師を探している。

○F委員

公民館専門員は、以前から知っている方に講師を依頼しているのか。

○分館長(谷戸)

初めて依頼する講師もいる。

○F委員

書籍、雑誌などを通して感銘を受けたので、依頼する場合もあるのか。

○分館長(谷戸)

ある。

○D委員

出産や育児に関していうと、若いお母さんたちは様々な情報を得ている。公民館専門員のみなさんは、アンテナをはって、そういう情報を得る努力をしているのだと思う。

○事業係長

公民館だよりの募集記事に目新しいキーワードや講師の名前が記載されるとインターネット等で調べて受講される方もいる。講師は、ほとんど面識のない方で、メールや電話で交渉や依頼をしている。

○F委員

西東京市内に適切な講師はいないのか。

○事業係長

西東京市内に適切な講師がいれば、交渉している。自分の人脈だけに頼るのではなく、講座内容を考えて新しい講師を探している。

○B委員

教養講座「韓国文学を入り口に学ぶやさしい近現代史入門」(ひばりが丘)は、定員を超える申し込みがあり、関心も高く、講座の継続を求める参加者の声もある。

地域講座「警女唄が聞こえる」(保谷駅前)は、継続して3月に実施されているが、地域に根付いていると感じる。

(2) 令和6年度公民館主催事業計画について(資料5)

○C委員

乳幼児をもつ母親のための講座「イライラしない、はじめての子育て講座(仮)」(柳沢)について、メインの講師の藤田潮氏はどのような方なのか、教えてほしい。

講座との関係性を教えてほしい。

○事業係長

ファシリテートしながら講座を進めることができる、受講者にも担当職員にも評判のよい講師。担当職員との信頼関係もできている。個人向けのライフコーチングなどを専門で扱い、以前から西東京市(公民館職員)との信頼性ができている。今回も、ファシリテートしながら講義を行う。また、第5回、第6回、第10回の講師は、令和4、5年度実施の性教育を取り上げた講座で依頼した方で、反響が大きかったので、今回、本講座で依頼した。

○G委員

女性対象講座(保育付き)「自分をもっと好きになる～自尊心を育むコミュニケーションのヒント」(ひばりが丘)について、プログラムはよいと思うが、事業目的が理解しにくい。

「新自由主義による過度な競争主義」と「良妻賢母」が繋がらない。おどろおどろしい感じがして、心理的安全性の対局のような感じがする。

○事業係長

柳沢公民館の乳幼児をもつ母親のための講座は、自分を見つめ直して子どもとの関係を考える講座であるのに対し、ひばりが丘公民館の女性対象講座は、社会的な視点から自分が置かれている立場を考えようとしている。能力偏重主義や自己責任論の中で軽んじられてきた子育てや介護などの「ケア」を政治・経済の視点から再評価し、自らの子育てを振り返るという講座。

○D委員

講座担当者の思いと講座に参加した母子の日々の暮らしをどうやってつなげていくかが課題だと思う。

○B委員

能力主義、競争主義、良妻賢母は、新自由主義以前からある。担当者は、どこに焦点をあてたいのか。自己責任論をどのように表現すれば伝わるのか。自己責任論を伝えるために新自由主義という言葉を使う必要があるのか。受講者に問いたいのか。冷静に考えた方がよいのでは

ないか。

○事業係長

広報の仕方を検討したい。

○D委員

子育て中の女性のための講座（保育付き）「健康な身体をつくる～栄養学の基本・添加物のない調理・日常生活が楽になる身体の使い方～」(田無)では、子育ての中での望ましい食生活、安心・安全を振り返るのだと思うが、保育室でおやつを出しているのであれば、保育員が保育の中のおやつについて話をすれば、講座と連動できるのではないかと思った。

○B委員

障害者学級の定員について、あめんぼ青年教室（田無）は34人、くるみ学級（柳沢）は2クラスあって1クラス20人となっている。あめんぼ青年教室の定員37人は多いと思うが、どのように運営しているのか。

○H委員

あめんぼ青年教室（田無）にボランティアで参加したことがある。月1回参加する方と2回参加する方がいる。第4日曜日は、34人の学級生が17人ずつ午前の部と午後の部に分かれて活動している。第2日曜日は、月2回参加する方が午後、活動している。

(3) まちなか先生について

○分館長(芝久保)

令和6年度「まちなか先生」事業は3講座、実施する。地域を知る講座は、小学校では「西東京カルタ」を取り上げ、中学校では周辺地域の郷土史等を取り上げる。平和講座は西東京市の空襲被害等の戦争体験を取り上げる。防災講座は地震への備えを取り上げる。校長会で募集したところ、地域を知る講座は小学校2校、中学校1校、平和講座は小学校7校、中学校3校、防災講座はスキップ教室、小学校4校、中学校2校から応募があった。これから、実施校を選ぶ予定。

3 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

2月26日から始まった市議会について報告する。一般質問で、公民館のWi-Fi環境について質問があった。現在、田無公民館ロビーのみ、公衆無線LANが整備されているが、来年度、全館に公衆無線LANが設置される。田無公民館と同程度のものを考えていること、ロビーで勉強している子どもたちの学習環境を整える意図もあることなどを教育長が答弁した。今年度の公民館の建物総合管理委託費について、予算額と契約額の間の差額が大きかったため、減額補正を行った。その際、市の施設の管理委託を一括で総合的に契約できないかという質問があったが、担当課で今後の検討課題と回答した。令和6年度の予算特別委員会では、柳沢公民館のサイクルゲートの廃止について、一時滞在施設が開設される公民館の備蓄品について、まちなか先生についての3件の質問があった。なお、まちなか先生は、開始から3年経ったので、来年度、新しい方に講師を依頼する。

○I委員

まちなか先生は3年が経過し、学校の間でよいものだという認識がひろがってきている。その結果、応募しても実施校にならないことも起きている。今年度、私の勤務校では、昨年度、平和講座で来ていただいた方に直接講師を依頼した。今年度、まちなか先生の講師を刷新されるということだが、そうやって、まちなか先生の講師経験者を増やしていただくと、地域の中に根付いて、まちなか先生に申し込まなくても、地域の方に講師として来ていただく機会が増えると思う。

(2) 公民館だより編集室報告

●担当委員より、3月11日開催の公民館だより編集室会議について報告。4月1日号の一面で、公民館主催の3事業を紹介することを報告。

(3) 西東京市図書館計画策定懇談会報告

- 担当委員が欠席のため、報告はなかった。

(4) 西東京市文化財保存・活用計画策定懇談会報告

- 担当委員より、2月26日開催の第4回懇談会について報告

(5) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

- 担当委員より、3月14日開催の第7回運営委員会について報告。来年度は、西東京市が委員部会の会長市を務めることが報告された。

4 事務連絡及び情報交換

(1) 令和5年度第2回利用者懇談会について

各館の利用者懇談会に参加した公運審委員が報告。

○J委員

地震が起きた時、公民館を避難先として考え、頼りにしている高齢者が多いと感じた。

○K委員

「視聴覚室は4区分ではなく、3区分にしてほしい」「5週ある月は、5回、抽選申込できるようにしてほしい」「パイプ椅子が重くて大変」「飲み物の自販機を置いてほしい」等の意見が出された。

○A委員

利用者懇談会の参加者が多いのに驚いたという声が印象に残っている。

(2) 令和6年度公民館運営審議会定例会開催日程について

- 令和6年度定例会開催日程案を了承

(3) その他

- 第36回谷戸まつりについて紹介

(4) 令和6年度第1回定例会の開催について

日時：令和6年5月22日(水) 午後6時30分

場所：柳沢公民館 視聴覚室